

テレワークの今

新型コロナウイルス感染防止を機に、テレワークの導入が全国的に進められています。新島村内でも導入が進みつつあるテレワークやオンラインでの取り組み状況をご紹介します。



テレワークって？

「テレワーク」とは自宅や外出先など、職場以外の場所で仕事をする柔軟な働き方のこと。高速インターネット回線やパソコンなどを活用することで、会社以外の場所で会社の作業ができるほか、離れた場所にいる人同士で会議や商談などを行うことができます。

テレワークは外出の機会や人と接する機会を減らせることから、新型コロナウイルス感染症予防策として全国の企業で急速に導入が進んでいます。また地方に暮らしながら都市部の仕事ができたり、自宅にいながら社員として働けたりすることから、場所や時間にとらわれない新しい働き方として期待されています。



村内の新しい動き

●東京の企業が村内でテレワークを実施

東京の企業が2019年4月～9月の期間、クリエイティブセンターオフィスを拠点にテレワークを実施。社員が村内で生活しながら業務を行い、新島村での本格的なテレワーク導入実例となりました。

●商工会館にテレワーク向けスペース開設

新島村商工会館1階に、コワーキングスペース(共同の仕事スペース)が2020年4月にオープン。高速インターネット回線やプリンターなどを完備し、島内外問わず誰でも利用できることから、テレワークでの活用が期待されています。

●議会のペーパーレス化

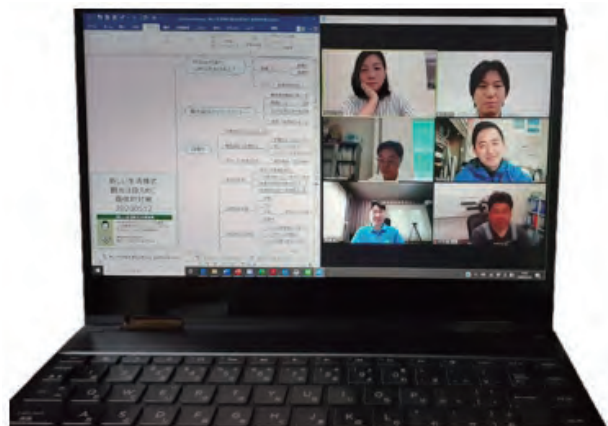
広報編集委員会ではインターネット経由のデータ共有を進めています。これにより、議会だより1号あたりコピー用紙500枚以上の削減を実現できると試算しています。オンラインでの編集会議も導入しつつあります。議会でもタブレット端末導入によるペーパーレス化の検討を始めました。

●仕事と休暇の一体化に期待

最近、観光地に滞在しながら職場と同じように仕事をする「ワーケーション」という新しい働き方が注目されています。新型コロナウイルスで働き方が見直されているだけに、来島者誘致の新しい手段として期待されています。

●オンライン会議が増加中

新型コロナウイルス感染防止策として、新島村では対面での会議は自粛しています。かわりに議員有志・観光協会・商工会職員が軸になり、非対面のオンライン会議を導入し、意見交換などを始めました。また村長や産業観光課を交えて、観光再開に向けたオンライン会議なども行なわれました。



▲実際の会議中の画面。参加者全員の端末にも、画面左側の議事録を表示(共有)しながら会議している。

●オンライン授業の導入

学校の休校が続いたことを受け、5月末に村内の小中高一斉にオンライン授業の配信テストが行われました。6月以降も分散登校と並行してオンライン授業が実施されており、教育現場のオンライン化が加速しています。